

～さあ、進路実現に向けて出発！！～

— 応募前職場見学・オープンキャンパス参加に向けて —

正しいスーツの着方



ネクタイについて

シーンに合わせてネクタイの色・柄を使い分けてみよう！



A ブルー系	清楚感や誠実さを感じる色
B レッド系	情熱的で意思を感じる色
C グレー系	落ち着き、知性を感じる色
D イエロー系	明るく親しみを感じる色
E ストライプ系	元気で爽やかな印象
F ドット系	落ち着いた上品な印象

パンツは裾丈バランスに注意。

裾は地面から 2cm 程ヒールが少し見えるくらいがベスト。座った時にくるぶしが見えないよう、座って試着し、長さやはき心地を確かめましょう。



見学の時から面接は始まっています！

— ハローワークからアドバイス —

見学・面接では、身だしなみやしぐさなどの第一印象が大きなポイントとなってきます。

また、身だしなみは、第一印象を決める重要な要素です。見学に行く際には、下記の点をチェックして身だしなみを整えましょう。

男女共通

- ①髪の色は茶色に染髪していないか。
 - ②爪は伸びていないか。
 - ③スーツにシワがよっていないか。
 - ④糸くずがついていないか。
 - ⑤シャツ(ブラウス)の襟や袖口に汚れがないか。
- ※夏場の見学の際でもえり付きの無地のシャツは必須ですが、半袖でも構いません。男子生徒はネクタイをしましょう。ジャケットは手にかけるなどして持参しましょう。また、汗をかくのでハンカチなどがあれば安心です。

女子

- ①髪が長い場合は束ねます。
- ※前髪は目にかからない程度に
- ②シャツは窮屈そうな印象を与えないよう、指が一本入る程度の余裕のあるサイズを着用し、ボタンは全部留めます。
 - ③上着のボタンは全部留めます。

男子

- ①顔が見えるように髪をきちんと整えます。
- ②清潔感が出るようひげは剃ります。
- ③ネクタイはまっすぐきちんとしめます。
- ④ネクタイの剣先がベルトにかかる長さがベストです。
- ⑤前のボタンは一番下を外すのが基本です。

履歴書・志望理由・面接に向けて

— 目標を設定しよう —

進路活動において、「目標設定」は最も大切なことです。自分のなりたい姿を明確にもつことで、希望の職種または学科が明確になり、進路に対して意欲的に取り組むことができるようになります。

将来が明確な人は、目標に向けて努力し成長できる人だとも言えます。実際に、面接では、将来の目標を聞かれることが最も多いです。

目標を一度掲げたら変えてはいけないことはありません。いろいろと挑戦し、自分の目標を定めていきましょう。

STEP1

将来の目標・夢は何ですか？具体的に年齢・なりたい人物像まで考えていきましょう。

(例) 28歳までには多くの人から頼られる人になりたい。

STEP2

STEP1を叶えるためにその5年前にはどのようなになっていないといけないかを考えよう。

(例) 23歳時点で会社の重要人物になる。

STEP3

STEP2のためにどのような環境にいてどのようなことを頑張るのかを考えよう。

(例) しっかりと教えてくれる環境、チャレンジさせてもらえる環境にいて、同期や若手の中で貴重な経験をたくさん積む

STEP4

最後に、自分が望む職種または学科を考えてみよう。

(例) 高校卒業後に活躍する人がいる会社

(例) 自分が望む資格が取得できる学科

○第4学年の皆さんへ

7月1日に求人票が公開され、就職希望者の皆さんは、自分の望む職場があるか探しているところだと思います。また、進学希望の皆さんはオープンキャンパスに行ってみたり、専門学校や短大ではエントリーを始めているところもあります。これからは三者面談も進む中で、自分の応募先や受験校を決めなければいけません。自分の進路ですが、保護者の方と相談し、お互いの納得がいくような進路活動ができるようにしましょう。

就職希望者はまず応募前職場見学を行います。各事業所の求人票を参考に、自分が興味を持つところには必ず複数見学するようにしましょう。求人票や個人的なイメージでは見えてこなかった姿が必ず見えるはずですよ。

進学希望者は、オープンキャンパスに行ってきたことをもとに、受験先や受験のタイプなどを決めていきましょう。成績や奨学金の制度など不安なことがあれば、担任の先生などに相談してみてください。

夏休みが始まりますが、まずは自分の進路実現を最優先に、計画的に登校して、進路活動をいいものにしましょう！

○第2学年・第1学年の皆さんへ

1学期が終わり、成績表が皆さんの手元に届いていることでしょう。進級できれば…卒業できれば…と目先のことを考えると、欠点がなければいいかな？と考えてる人もいるでしょう。

しかし、進学・就職には人柄や当日の試験だけでなく、成績や出欠状況が有利にも不利にも働きます。本校も多数の企業や学校から指定校求人・推薦を頂いていますが、成績が悪かったり、欠席日数が多かったりすると、対象にならない場合も多いです。

進路学年になったときに後悔しないように、一つでも良い成績をとり、先を見すえた行動ができるようにしましょう。